

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

回復期病棟におけるポリファーマシーの実態と薬剤師の介入による影響	
1. 研究の対象および研究対象期間	2020年4月から2022年3月までの間に昭和大学藤が丘リハビリテーション病院回復期病棟（2階病棟及び4階病棟）に入院した患者のうち昭和大学藤が丘病院及び昭和大学横浜市北部から転院してきた患者さん
2. 研究目的・方法	回復期リハビリテーション病院に入院している患者のポリファーマシー（潜在的に不要な薬物療法が行われている状態）の実態を調査すること及び薬剤師の介入がポリファーマシーにどのような影響を及ぼすかを明らかにすることを目的とします。 研究方法是対象患者の診療録より患者背景、処方情報、リハビリテーション情報、薬剤師の介入記録を調査し、薬剤師の介入によるポリファーマシーへの影響を明らかにします。
3. 研究期間	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	診療録情報から患者さんの背景（性別、年齢、リハビリテーション目的となった疾患名、入院日、退院日、既往歴）、患者の処方情報（持参薬情報（入院時に服用していた薬剤）、退院時の処方）、リハビリテーション情報（機能的自立度評価表スコア）、薬剤師の介入記録（薬剤師記録）
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません
6. 研究組織	研究責任者 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院薬局 昭和大学薬学部病院薬剤学講座 島本 一志

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院薬局 氏名：島本 一志

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1 電話番号：045-978-6770